

雪がた

— 豊科病院だより —

豊科病院広報誌

平成26年5月1日 発行

発行者 豊科病院広報文化委員会
〒399-8205

長野県安曇野市豊科5777-1

URL <http://shironishi.or.jp/>

豊科病院の理念

自他を問わず人間を愛し、慈しむ心を礎に、病める人、障害を持つ人、悩める人に常に自分の家族に接するように優しく接し、最良の医療・福祉サービスを提供し、地域の人々の要求及び個別的な要求にも応え、地域で人々が快適に生活できるような支援を行う。

平成26年度 新年度式

去る4月1日、新年度式が開催されました。

最初に関総長の訓示により、本年度の城西医療財団の方針および新規事業に関する全体像が示されました。

関総長は、城西病院において小児科病棟18床を建設し、重症心身障害児者および家族を対象として、退院後の安心した生活を送るための教育やレスパイト支援を重点的に取り組んでいく。さらに、小倉ホームが、精神障害者のグループホームとして4月8日に竣工を迎える。国の方向性でもある「施設から地域へ」の流れの中で、障害者が地域で暮らすためのサービスを開設していくこととなる。診療報酬の改定の動向に目を向け、精神科病床の機能分化機能強化を踏まえて改革を進めていく必要性もある。

新人職員へ向けては、先輩と早く馴染み、仕事を習熟し戦力と

しての活躍を期待するとともに、迎える現職員も温かくアドバイスし、一緒に楽しく仕事をしてもらいたい。』と訓示しました。

引き続き、城西医療財団および豊科病院、安曇野メディアの辞令交付が行われました。安曇野メディア所長に就任した山口医師



をはじめ、昇格辞令1名を含む7名が辞令を受けました。

五味淵院長は、新人職員へ疲れたら上司に相談をすることと、休養と相談の重要性、教科書通りでないことが多い現場においては、目の前の患者さん利用者さんから教わり業務にあたるのが大切。』と、自身の健康と業務にあたる時の姿勢を改めて職員に伝えました。



就任一年を迎えて

看護局長 小原 なつみ



昨年4月より、看護局長として務めさせていただき、よう

やく一年がたちました。もともと人見知りの引っ込み思案な性格であり、局長などという立場になるなど考えもしていなかった私は毎日が困惑の日々であり、時には足元をすくわれ、時には壁に突き当たりながらも皆様の広い心に支えられ一日一日の業務をこなす毎日です。また、看護局長という立場になり、これまで以上に院外での研修や会議に出席させていただくなかで、豊科病院の看板を背負っていることを痛感し気を引き締めています。余談ですが、車の運転にもかなり気を使い、法定速度を意識し余裕をもって走れるようになったかな？と勝手に自画自賛しています。

そんな日々のなかで、患者様に声をかけて頂いたり笑顔を見ているとほっこりとした気分になります。医療看護職とは、厳しさの中にもそんな陽だまりのような瞬間があるから続けていける職業なのかなと感じます。そして緊張感と同時に人に対する温かさを持ち、スマートにON・OFFの切り替えができる人ってかっこいい、プロだ、と思うのです。

などと理想は高く、まだまだ頼りない未熟者ですが、皆様の協力を得ながら一步一步努力して参りますので、今後とも御指導、御鞭撻の程、宜しくお願いいたします。

事務局長 手塚 尚徳



昨年の4月に豊科病院へ異動となり早くも

1年が経過しました。私は城西病院に入職後、ミサトピア小倉病院、豊科病院、安曇野メディ

アと異動して、城西医療財団で行っていない施設は、白馬メディアを残すところとなっていましたので、次の異動は白馬だろうと思っていたところ、縁あってまた豊科病院に戻ってまいりました。

一般的に医療機関とは、一概に「治療の場」をイメージされると思いますが、医療機関でも、急性期 急性な病気の治療や慢性期 療養の場など症状や状態により区分されます。私はいろいろな施設を渡り歩きましたので、施設が果たすべき役割(機能)により職員が持っている職務意識の違いを感じました。

豊科病院では、精神科の急性期と慢性期の機能を有しており、主治医の治療方針とスタッフが「一丸となり日々患者様にとって最良の医療が出来るように心がけております。私も患者様方に最良の医療を提供できる病院であり、患者様より信頼される病院になる様に努力していきます。

新入職員紹介

平成26年度に迎えた新入職員を代表して、この春から新社会人となった事務部の川上さんをご紹介します。

事務部 川上 文也



豊科病院に就職して、1ヶ月が経とうとしています。この1ヶ月は短いようでとても長く感じました。初めての環境に戸惑い、豊科病院内の部署を覚えるだけでも大変でした。

私は、大学3年生の後半から4年生の2月いっぱいまで就職活動を行ってきました。いろいろな業種の企業にエントリーをして、内定をひとつついただくことができました。しかしどこか、自分の中で腑に落ちないところがあり、就職活動を卒業ギリギリまで続けていました。そ

こで最後に豊科病院を受け、家族や大学の助けもあり運良く働かせていただくことになりました。いろいろな面で支えてくださった方々に感謝をしながら働いていきたいと思っています。

事務員として働かせていただくことになりました。しかし、何一つわからないことだらけです。同じ事務部の方々ははじめ、豊科病院の職員の方など、いろいろな方にお世話になりながら仕事手順を教わっています。

まだまだ、右も左もわからない状態ですが早く一人前になれるようがんばりますので、ご指導のほどよろしくお願いいたします。

心の癒し(22)

「私が癒された理由」

S・H

私は、小さい頃から母方の祖母に可愛がられながら大事にされてきました。社会人になってからも関係は変わらず、近年に至っては年に1回程度一緒に旅行をしています。私の癒しは、車やマンガ等好きなものがあります。祖父母との旅行も癒しの一つであります。今回、私は連休中に行った祖父母との旅行のお話をしたいと思います。

私と祖父母は、愛知県の知多半島に行き、まず中部国際空港を見てまわりました。そこは、長崎空港、関西空港に次ぐ日本で3番目の海上空港であり、知多半島常滑市の伊勢湾海上にあります。また、成田国際空港、関西国際空港と並び、トップクラスの国際空港なのです。空港に着いた私と祖父母は、真っ先にスカイデッキを見てまわりました。ここでは、わずか50メートル先にある誘導路を離陸に向けて進んでいく飛行機や機体が浮き

上がる瞬間を間近に見ました。私にとって初めての体験でもあったので思わず興奮してしまいました。

昼食は、祖父母のオススメであるまるは食堂で食べました。この食堂は、空港内の4階に位置し大きなエビフライで有名な場所でした。テーブルに定食が運ばれると、祖父が「本じゃ足りないだろう。オレの分はいから」と私にエビフライをくれました。食後は少々胃もたれ



気味になりましたが、祖父からの気持ちは何よりも嬉しかったです。

空港散策を終えた後は、常滑にある「ねふくのめんたいパーク」に行きました。工場見学もでき、明太子の製造から仕分けと一連の流れを見ることができました。見学後は、できたて明太子を試食できるコーナーがあり、そこは凄い人だかりで行列ができていたほどでした。私もその長い列に並び試食をしました。試食する方の中には、「美味しかったです」と言いながらパクパクと口に運ぶおばあさんもいて何だか賑わっている感じでした。実際の試食してみても感想は、上手く言葉で言い表せませんが美味しかったです。

宿舎に到着後は温泉にゆったりと浸かり、祖父と世間話等しながら今日一日の疲れを癒しました。また、宿舎の窓からは海が見え夕日もとても綺麗でした。あつこという間な1日でしたが、色々なものを見たり食べたり、和氣藹々わきあたたかと過ごした祖父母との時間は、とても楽しく気分が安らぐひとときでした。

外来 医師担当表

平成26年 4月1日現在

曜日	月	火	水	木	金	土
精神科	なかざわ ちとお 中澤 知遠 医師	にしざと よしあき 西里 吉昭 医師	ごみぶち みつのり 五味洵 満徳 医師	ごみぶち みつのり 五味洵 満徳 医師 又は なかざわ ちとお 中澤 知遠 医師	なかざわ ちとお 中澤 知遠 医師	ごみぶち みつのり 五味洵 満徳 医師
内科	ごとう のりひこ 後藤 憲彦 医師	休 診	休 診	まるの たかし 丸野 崇史 医師	やまぐち しんじ 山口 伸二 医師	休 診

◎ 受付時間 午前 8:00～午前 12:00
◎ 診療時間 午前 9:00～終了まで

※ 午後は全科**休診**となります。
※ 日曜・祝日は全科**休診**となります。

※ご不明な点等は、受付へご確認下さい。
お問い合わせ先 電話 0263-72-8400



～ 編集後記 ～

豊科病院広報誌「雪がた」第31号をお届けしました。お読みになっていかがでしたでしょうか？

2月には10年に一度あるかないかの大雪が2回あり、影響を受けた方も多かったと思います。コンビニの棚からいろいろな食料品がなくなってしまう、3年前の震災の時を思い出すような光景でした。そんな大雪もすっかり解け、陽気はまさに信州の春を迎えようとしています。本誌のタイトルにある「雪形」が、そこかしこに見られる季節となりました。みなさんも探してみてくださいはいかがでしょうか。

※表題「雪がた」について 春から夏にかけて北アルプスでは様々な雪形が見られ、当院からは常念岳の常念坊や、蝶ヶ岳の蝶などの雪形を正面に望むことが出来ます。雪形が季節の変化に合わせて融けるように、患者様の病も融ける・・・表題にはそんな願いが込められています。

また、表題の写真は当院屋上から撮影しました。